

安全
安心

まちづくり ニュース

2012年度
第1号

みんなで始めよう！
犯罪のない
安全安心まちづくり

地域で子どもを見守ろう



子どもに対する声かけ事案などは年々減少しており、子どもの安全に関する取り組みの効果がうかがわれます。

しかしながら、誘拐や性犯罪の前兆と認められる「声かけ」「つきまとい」「わいせつ目的」が、声かけ事案全体の約6割を占め、また、対象者に小学生が多いことなど、まだまだ問題も認められます。

子どもたちを事件・事故の被害から守るため、私たちができることに取り組みましょう。

子どもの安全を守るためには、子どもの見守り活動などのように、地域住民のみなさんが一緒になって活動していくことが大切です。

保護者の方や地域のみなさんへのお願い

■保護者の方へ

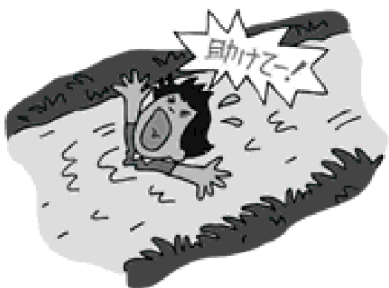
- ◎日頃から親子のコミュニケーションをとりながら、子どもさんの行動を把握しててください。
- ◎子どもさんとは家庭の中でも次のことを話し合ってください。
 - ◆登下校の場合
「友達と一緒に登校する」「寄り道をしない」「車に気をつける」
 - ◆遊びに行く場合
「一人で遊ばない」「家の人にひとこと言ってから出かける」
「知らない人に声をかけられても、絶対について行かない」



■地域のみなさんへ

- ◎遅くまで遊んでいる子どもを見かけた時は、早く家に帰るように声をかけてください。
- ◎登下校の時間帯は、掃除、買い物や犬の散歩などを通して、子どもたちの見守り活動をお願いします。
- ◎不審な人や車などを見かけたら、不審者の人相、特徴や車のナンバーなどをメモし、警察や学校へ連絡してください。

海や川、池などでの水難事故に気をつけよう



暑い季節になり、子どもたちが海や川などで水遊びをする機会も増えていきます。

例年水の事故が絶えず、昨层高知県でも水難事故が総数18件(うち子ども4件)発生しています。

水遊びに出かける際には、次のことに十分注意して、子どもたちを痛ましい事故から守ってください。

- ◎危険な場所の事前点検
- ◎水の怖さの再確認
- ◎幼児から目を離さない
- ◎子どもだけの水遊びに注意